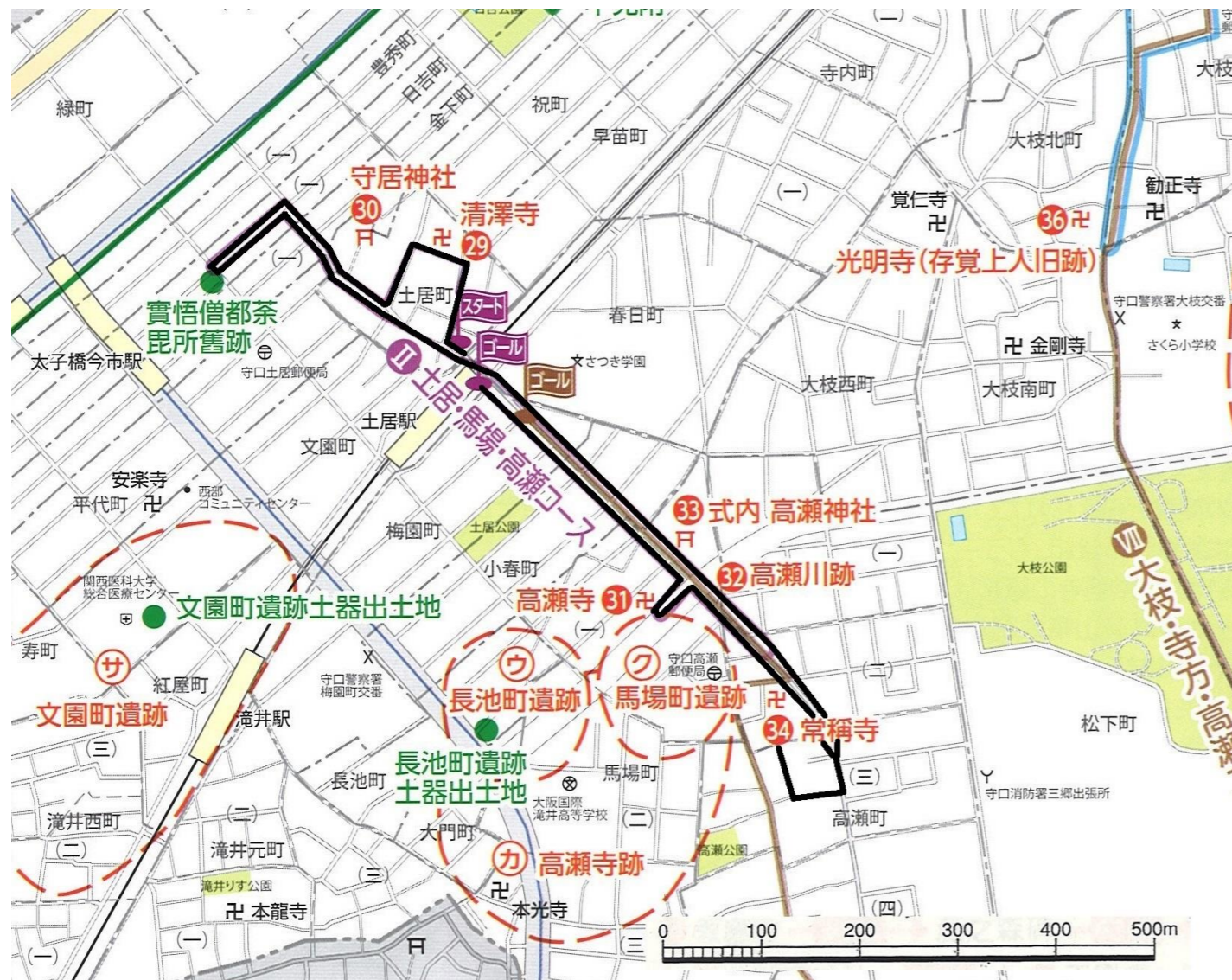


もりぐち ぶらり歩き マップ

史跡散策コースⅡ (らくらく) 土居・馬場・高瀬コース



スタート 京阪電車土居駅 - (160m) - ②⑨清澤寺 - (120m) - ③⑩守居神社 - (180m) - 「實悟僧都茶毘所舊址」碑 - (670m) - ③③式内高瀬神社 - (60m) - ③②高瀬川跡碑 - (80m) - ③④常稱寺 - (130m) - ③①高瀬寺(釈迦寺) - (310m) - ゴール 京阪電車土居駅 (全 1,710m)

(○番号は守口文化財ガイドマップと共通)



せいたくじ
②⑨清澤寺



たかせがわあとひ
③②高瀬川跡碑



もりいじんじゃ
③⑩守居神社



じつごそうづだびしょきゅうし ひ
○「實悟僧都茶毘所舊址」碑



しきないたかせじんじゃ
③③式内高瀬神社

(○番号は守口文化財ガイドマップと共通)

せいたくじ

⑲清澤寺

浄土真宗東本願寺派の末寺で、蓮如上人の第十男第23番目の子息実悟上人が、永禄年間(1558~70)の初めに当地方を教化中に当寺の荒廃を聞き、これを再興して土居坊と称し、のち上人の姓「清澤」を採って清澤寺と改称されました。当寺の宝物のなかには、実悟上人の肖像画が上質の絹に描かれており、江戸

時代の初期頃の作品と推定され、数少ない実悟上人の画像として貴重な資料です。また境内には「実悟老師御墳墓」碑が、西方日吉町2丁目の交差点には「實悟僧都茶毘所舊址」碑があります。



「実悟老師御墳墓」碑

じつごそうづだびしょきゅうし ひ

「實悟僧都茶毘所舊址」碑

実悟僧都は、明応元年(1492)に蓮如上人の十男として生まれ、永禄年中(1558~70)に河内国茨田郡に土居坊(現・清澤寺)を開き、さらに世木坊、古橋坊も創建しました。

実悟僧都は天正12年(1584)11月に93歳で没し、この場所で茶毘(火葬)に付したとされています。



「實悟僧都茶毘所舊址」碑

⑳守居神社

社記によると、延喜18年(918)淀川洪水の時、西南石礫の淵で、「我天道神也、我を祀れと振鈴の声でお告げがあった」ので、「土を居いて」お祀りしたのが始まりと伝えられ、祭神は素戔鳴尊・別雷命と記されています。

社名は守口と土居の各一文字を用いて「守居」としたとされています。

現本殿は昭和16年建築で、現本殿の左奥にある稲荷社が守居神社の旧本殿になります。

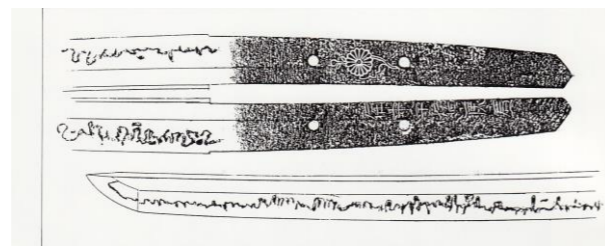


守居神社稲荷社



境内の塞神社

当社には、昭和56年に大阪府指定有形化財となった守居神社刀があります。この刀は茎(中子)に「備中守橋康廣」の銘があり、刀匠の近江石堂派の支派で、大阪石堂派の祖となった康廣の作品です。また宝永7年(1710)の銘をもつ瓦製狛犬(一対)が奉納されており、府下陶磁・瓦製の狛犬としては最古のもので、平成12年に市の有形文化財に指定しました。



大阪府指定有形化財 守居神社刀



市指定有形文化財 瓦製狛犬

しきないたかせじんじゃ

㉓式内高瀬神社

高瀬神社は、平安時代の『延喜式神名帳』に、茨田郡五座の一つとして記載されている式内社で、守口市内屈指の古社である。社伝によると、祭神は天御中主命で、聖武天皇の勅願で、高瀬川のほとりに祀られたとされています。

天正年間(1573~92)に織田・三好の兵火で社殿は焼失したが、その後再建され、現在の社殿は江戸時代中期頃に建てられたものです。江戸時代には、八幡宮とも呼ばれていました。



式内高瀬神社

たかせがわあとひ

㉔高瀬川跡碑

高瀬川は古歌にもたびたび詠われており、平安時代には「高瀬の淀」、江戸時代には「守口川」とも呼ばれていました。

この高瀬川には、奈良時代の高僧行基がかけた高瀬橋があったとされています。その高瀬橋の遺物と考えられる橋杭の石柱が馬場町で出土したことから、高瀬川は相当大きな川で、かつては淀川の本流であったと伝えられています。



高瀬川跡碑

じょうしょうじ

㉕常稱寺

常稱寺は浄土宗知恩院の末寺で、かつては高瀬山華嚴院常稱寺と称し、華嚴宗高瀬寺の奥院と伝えられています。この寺は二巻の縁起を蔵し、一つは常稱寺の縁起、もう一つは寺に伝わる舎利の由緒を記録しています。

常稱寺の縁起は『河洲茨田郡十七ヶ所之内小高瀬郷一本寺高瀬山華嚴院常稱寺縁起』と称し、行基開創になる高瀬寺の縁起(室町時代の公卿三条西実隆日記『実隆公記』から)を記しています。舎利記は『華嚴院常稱寺舎利記』と題し、舎利の来歴と感応のことを記しており、共に奥書から元和4年(1618)のもので、江戸時代初期の資料として貴重です。



常稱寺

たかせじ

㉖高瀬寺

高瀬寺は浄土宗高瀬山高瀬寺と号し、現在は馬場1丁目にあるが、かつては馬場3丁目にあり、現在地に移ってきました。

もとは釈迦寺とも号し、室町時代に建立されたものと考えられています。境内には宝篋印塔の台座には「高瀬寺」と刻まれたものが残されているそうです。



高瀬寺